

2日目:11月10日(日)

		11F 会議室				
9:00～10:00	9:00開場	新理事会				
		A会場(6F Auditorium 160)	B会場(9F Auditorium 80)	C会場(10F Auditorium 80)	D会場(12F Idea Room#1 50)	E会場(12F Idea Room#2 50)
10:00～12:15 135分 一般報告セッション	セッション名 座長	一般報告 ナツジの実践と課題 星野崇宏(慶應義塾大学)	一般報告 自然災害 花岡智恵(東洋大学)	一般報告 教育・労働環境の効果 筒井義郎(甲南大学)	一般報告 ハウスホールドファイナンス 村宮克彦(大阪大学)	一般報告 プロスペクト理論とヒューリスティックス 高橋泰城(北海道大学)
10:00～10:45	報告題名	地方自治体におけるナツジの実装に向けた体制構築と普及戦略ー横浜市行動デザインチーム(YBiT)の取組事例に基づく提案ー	Disasters, Present Bias, and Depression: Evidence from the Great East Japan Earthquake	最低賃金の引き上げによって労働生産性は向上するのか	心理会計バイアスが個人の金融資産残高に与える影響	価値から確率へ、確率から価値へ: Risk-reward heuristicの双方向性の検討
	報告者	高橋勇太(横浜市役所)【奨】	岩崎敬子(ニッセイ基礎研究所)【奨】	岩崎雄也(青山学院大学 大学院生)【奨】	末廣徹(法政大学 大学院生)【奨】	中村國則(成城大学)
	討論者	大竹文雄(大阪大学)	池田新介(関西学院大学)	久米功一(東洋大学)	高阪勇毅(福山大学)	犬童健良(関東学園大学)
10:45～11:30	報告題名	寄付行動を促すための介入の効果は寄付先活動によって異なるか?: 全国規模オンライン実験と機械学習に基づく検証	Early-Life Circumstance and Adult Locus of Control: Evidence from 72 Countries	そろばん授業の効果分析: プロGRESSレポート	日本人の金融リテラシーはそれほど低い!?	どのような情報が非合理的な行動を誘発するのか: アンカリング効果の視点から
	報告者	石原卓典(京都大学 大学院生)【J】【奨】	庄司匡宏(成城大学)【奨】	佐野晋平(千葉大学)	山口勝業(イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社/一橋大学)	大貫祐太郎(東京大学 大学院生)【奨】
	討論者	星野崇宏(慶應義塾大学)	花岡智恵(東洋大学)	西村智(関西学院大学)	山根承子(大阪大学)	高橋泰城(北海道大学)
11:30～12:15	報告題名	意思決定者はナツジによる操作から逃れられるか	豪雨災害の予防的避難の促進ナツジ	大学や病院の保育委託で保育の質を守る方法について		
	報告者	山田歩(滋賀県立大学)	大竹文雄(大阪大学)	大垣昌夫(慶應義塾大学)		
	討論者	本田秀仁(安田女子大学)	藤見俊夫(熊本大学)	長江亮(東京大学)		
		6F ポスタースペース				
12:20～14:20 120分		ポスター掲示(一般)(*1)	ランチタイム(*2)	(*1) 奇数番号の方は12:20～13:20、偶数番号の方は13:20～14:20に発表する。なお、それ以外の時間帯に重ねて発表することができる。 (*2) 3F Learning Salon、または周辺のレストランをご利用ください。		
		9F Auditorium 80	10F Auditorium 80			
14:25～15:55 90分 特別セッション	テーマ	知覚心理学の世界:なぜ縦方向は横方向よりも長く見えるのか	行動経済学と良心			
	座長	山根承子(大阪大学)	大垣昌夫(慶應義塾大学)			
	報告者	東山篤規(立命館大学)	小原克博(同志社大学、良心学研究センター長)			
	報告者		八木匡(同志社大学)			
15:55～16:10 Break						
		14F Hall 300				
16:10～17:40 90分	テーマ	ナツジを考える				
	コーディネーター	大竹文雄(大阪大学)				
パネルディスカッション	パネリスト	・依田高典(京都大学) ・中村隆文(神奈川大学) ・柴田浩久(宇治市) ・松村真宏(大阪大学)				
		11F 会議室				
17:45～18:35 50分		行動経済学会奨励賞選考委員会				

【J】…ジョブセミナー  
【奨】…奨励賞審査対象報告